



Mercedes-Benz

Press Information

2023年2月27日

メルセデス・ベンツのスポーツコンパクトとプレミアムコンパクトセダン

新型「A クラス」および「A クラスセダン」を発売

- ・ スポーティなエクステリアデザインを採用
- ・ 安全性や快適性を高めるアダプティブハイビームアシストを標準装備
- ・ Cセグメント初のMBUX ARナビゲーションなどをA 200 dに標準装備
(A 180にオプション設定)

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、メルセデスのスポーツコンパクトモデル、新型「A クラス」およびプレミアムコンパクトセダン、新型「A クラスセダン」を発表し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて発売します。

Aクラスは、ワイド&ローのプロポーションとアグレッシブで若々しいボディにメルセデス・ベンツの先進技術を注ぎ込むことで高い快適性を持つ、スポーツコンパクトモデルです。Aクラスセダンは、AクラスやBクラスなどに使用している最新の前輪駆動シャーシをベースにしたプレミアムコンパクトセダンです。セダンのフォーマルさと、Aクラスの持つ若々しいイメージを融合させたモデルで、狭い街中であっても持て余すことがない、コンパクトなボディサイズが特長です。両モデルとも、対話型インフォテインメントシステム「MBUX(メルセデス・ベンツ ユーザー エクスペリエンス)」や充実した安全運転支援システムを採用するなど多くの機能を取り入れています。

今回の新型「Aクラス」および「Aクラスセダン」は、内外装のデザインを刷新するとともに、ナビゲーションシステムをSクラス等に採用している最新世代にアップデートし、安全性や快適性を高めるアダプティブハイビームアシストを全モデルに標準装備、MBUX ARナビゲーション、アドバンスドサウンドシステム等をA 200 dおよびA 200 dセダんに標準装備、A 180およびA180セダんにオプション設定しました。

スポーティに刷新されたエクステリアデザイン

フロントデザイン

- ・ ボンネットにパワードームを備え疾走感あるプロポーションに変更
- ・ サメの尖った鼻先を想わせる前傾したフロントエンドによりシャープさを強調
- ・ AMGラインでは、マットクローム仕上げの小さなスリーポイントドスターが無数に散りばめられたシングルルーバータイプの「スターパターンフロントグリル」を採用 (標準仕様はブラック仕上げ)

- ・ AMGラインでは、下部に広がる台形とその両サイドに大口径のエアインテークにすることで、よりアグレッシブかつパワフルなデザインになったフロントバンパー
- ・ シャープな印象を与える水平基調のヘッドライトデザイン



新型Aクラス(標準仕様)



新型Aクラス (AMGライン仕様)



新型Aクラスセダン(標準仕様)



新型Aクラスセダン (AMGライン仕様)

リアデザイン

- ・ スポーティかつ安定感のあるリアビューを演出する新デザインのリアディフューザー
- ・ LEDリアコンビネーションランプのデザインを水平基調にすることで、よりシャープな印象を与えるリアデザイン



新型Aクラス(標準仕様)



新型Aクラス (AMGライン仕様)



新型Aクラスセダン(標準仕様)



新型Aクラスセダン (AMGライン仕様)

新型Aクラスには、ブラックペイントをあしらうことで足元をスポーティに演出するアルミホイールを採用しました。標準仕様には17インチ5ツインスポークアルミホイール、AMGラインには18インチ5ツインスポークアルミホイールが装着されます。

また、外装色に新色「ローズゴールド」を追加しました。



新色「ローズゴールド」

より直感的な操作が可能なステアリングホイールを採用したインテリア

インテリアには、新世代のステアリングホイールを採用し、オプションのAMGラインパッケージを選択すると、3本のツインスポークにより近未来的なスポーティさを演出しています。ナビゲーションやインストルメントクラスター内の各種設定や安全運転支援システムの設定を手元で完結できる機能性も有しています。従来はタッチコントロールボタンへの接触やステアリングホイールにかかるトルクで判定していた、ディスタンスアシスト・ディストロニック使用時のハンズオフ検知機能のために、新たにリムに静電容量式センサーを備えたパッドを採用しました。これにより、ステアリングホイールにかかるトルクがなくなるとも、ドライバーがステアリングホイールを握っていることが認識され、ディスタンスアシスト・ディストロニックの使い勝手を向上しています。また、センターコンソールに設置していたタッチパッドを廃止し、すっきりとしたインテリアデザインになりました。さらに、オプションのAMGレザーエクスクルーシブパッケージを選択すると、シートの素材として従来設定が無かったシックで高級感のあるインテリアを演出する本革ブラックをお選び頂くことが可能となりました。

100%リサイクルから得られた原料を使用したシートを採用

メルセデス・ベンツの「アンビション 2039」は、2039年より新車の乗用車について、バリューチェーンとライフサイクルの全体でカーボンニュートラルな商品を投入する目標を設定しています。まずは、2020年代末までに、新車における乗用車1台当たりの全ライフサイクルにわたるCO₂排出量を2020年比で少なくとも半減させることを実現すべく、そのための対策の1つが、リサイクルから得られる原材料を採用しています。新型AクラスとAクラスセダンの設計においても、使用するすべての材料について見直し、より持続可能な代替品が使えないか検証が行われました。レザーARTICO/ファブリックのシート中央部には、100%リサイクルから得られた原料を使用したファブリックを採用しています。レザーARTICO/MICROCUTの場合、この比率はシート表面で65%、内部材料で85%となっています。

最新世代のMBUX(メルセデス・ベンツ ユーザーエクスペリエンス)を標準装備

新型「Aクラス」および「Aクラスセダン」に最新世代の対話型インフォテインメントシステム「MBUX」を採用しました。ボイスコントロールは「Hi, Mercedes」^{ハイメルセデス}をキーワードとして起動します。音声認識機能は多くのインフォテインメント機能(目的地入力、電話通話、音楽選択、気象情報)に加え、クライメートコントロール、各種ヒーター、照明など多様な機能にも対応しています。また、音声認識だけではなく、タッチスクリーン、ステアリングホイールにあるタッチコントロールボタンでも様々な操作をすることができ、ドライバーの好みや運転状況に応じて使い分けることが可能です。また、メルセデス・ベンツの最新世代のナビゲーションシステムと、Cセグメントに初めてMBUX AR (Augmented Reality = 拡張現実)ナビゲーションを採用しました^{*1*2}。従来、目的地を設定して行先案内をする場合、地図上に進むべき道路がハイライトされますが、新型では、それに加えて、車両の前面に広がる現実の景色がナビゲーション画面の一部に映し出され、その進むべき道路に矢印が表示されます。

*1: 2023年2月時点。自社調べ。

*2: A 180にオプション設定。A 200 dに標準装備。

安全性や快適性を高める装備の数々をA 200 dに標準設定、A 180にオプション設定

A 200 dおよびA 200 dセダンには、交通状況に応じてハイビームとロービームを切り替え、ヘッドライトの照射範囲を自動で調整し、あらゆる状況下において常に最大限の視界を確保するライトシステム「アダプティブハイビームアシスト」を標準装備しました。また、音響装備も合計10スピーカー、225W出力のアドバンスサウンド

システムを標準装備することで、さらに心地よいサウンドをお楽しみ頂くことが可能です。アドバンスサウンドシステムはA 180およびA 180セダンにはオプション設定しています。

パワートレイン

A 180 に搭載される「M282」エンジンでは、「デルタ形シリンダーヘッド」が採用され、その名のとおり、シリンダーヘッドが三角柱を横に寝かした形状となっています。通常のシリンダーヘッドに比べると、装着時の高さがある一方、幅や重さが小さくなり、軽量化、省スペース性能が向上しています。

この高圧縮比 4 気筒エンジンは、ノイズの低減に力を注ぎました。吸気ダクトにヘルムホルツ共鳴器を採用し、触媒コンバーターには遮音シールを施したほか、カバーもノイズ低減の役目を持たせています。

A 200 dに搭載される「OM654q」は、最高出力150PS(110kW)、最大トルク320N・mと、コンパクトなボディを力強く加速させる性能を有しながら、低振動で高い静粛性を両立させています。

シリンダーピッチを90mm、シリンダー間の厚みを8mmとして、全長をコンパクトにまとめたシリンダーブロックは軽量化のためにアルミニウム製となっている一方、ピストンはスチール製となります。この熱膨張率の異なる素材を採用することで40%以上摩擦を低減しています。また、シリンダーウォールにスチールカーボン材を溶射コーティングする「NANOSLIDE®」摩擦低減加工を施しています。

ターボチャージャーは可変タービンジオメトリーを採用しており、低回転域から高回転域まで全域でトルクフルな加速を可能にしています。

ピエゾインジェクターを使用した、コモンレールダイレクトインジェクションシステムは最大圧力2,050barまで高められています。また、冷却された高圧EGRと低圧EGRを組み合わせた「マルチウェイ排出ガス再循環(EGR)」を搭載しており、燃焼の最適化を図り、後処理を行う前の段階で窒素酸化物を低減します。

排出ガスの浄化システムはエンジンに近接し搭載されたことで、排出ガスの温度低下による浄化効率の低下を防ぐことを可能にしています。ターボチャージャーから出た排出ガスは、まず酸化触媒へ送られた後、AdBlue®が添加されます。下流のsDPF(DPF with SCR Coating : 選択触媒還元法コーティング付粒子状物質除去フィルター)で粒子状物質の捕集と窒素酸化物の低減を行った後、SCR触媒でさらに窒素酸化物の処理を行います。その後、SCR触媒でさらに窒素酸化物の低減を行うと同時に、余剰のアンモニアを処理するアンモニアスリップ触媒(ASC)を備えることで、運転状況が急激に変化した場合にもアンモニアが外気中に放出されることを防ぎます。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格*3 ()内は消費税抜き車両本体価格
A 180	右	1.4L、直列 4 気筒 直噴ターボ	¥4,980,000 (¥4,527,273)
A 200 d	右	2.0L、直列 4 気筒 直噴ディーゼルトーボ	¥5,580,000 (¥5,072,728)
A 180 セダン	右	1.4L、直列 4 気筒 直噴ターボ	¥5,050,000 (¥4,590,909)
A 200 d セダン	右	2.0L、直列 4 気筒 直噴ディーゼルトーボ	¥5,700,000 (¥5,181,819)

*3: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、新型「Aクラス」および「Aクラスセダン」各モデルには、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

さらに、メルセデス・ケア終了後、有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」と、4、5年目のメンテナンスサービスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス*4」をご用意しています。

*4 新車登録日から59ヶ月後の応当日の前日、または総走行距離75,000km 到達時のいずれか早い時点で終了となります。



メルセデス・ベンツ Aクラス (AMGラインパッケージ装着車)



メルセデス・ベンツ A クラスセダン (AMGラインパッケージ装着車)

新型「Aクラス」および「Aクラスセダン」に搭載される安全運転支援システムの 詳細説明

「インテリジェントドライブ」

マルチパーパスカメラとレーダーセンサーの働きにより周囲の交通状況を的確に把握します。

・アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック

「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック」は、マルチパーパスカメラとレーダーセンサーにより、高速道路などの走行時に先行車を認識して、速度に応じて車間距離を調節します。減速が必要な場合、アクセルおよびブレーキを調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自車も停止します。

*5: アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック作動速度範囲: 0~約 200km/h
設定可能速度範囲: 約 30~200km/h

・アクティブブレーキアシスト

先行車や路上の物体などとの衝突の危険性を感知すると、ディスプレイ表示や音でドライバーに警告します。必要な場合はシステムが衝突を回避するために強力な制動力を発揮できるようブレーキ圧を高めます。

*6: 作動速度範囲: 約 7~250km/h

・トラフィックサインアシスト

一般道や高速道路を走行中、カメラが制限速度などの標識を読み取り、ディスプレイに表示し、制限速度を超えた際には警告音を出してドライバーに注意を促す機能も搭載します。

*7: ナビゲーションパッケージ装着の場合のみ

・アクティブレーンキーピングアシスト

フロントウインドウのマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合は補正ブレーキによって車両を車線内に戻そうとします。なお、破線の車線走行時には隣車線の車両もしくは対向車と衝突の危険がある場合にのみ作動します。

*8: 作動速度範囲: 約 60km/h~200km/h

・ブラインド・スポットアシスト(降車時警告機能付)

30km/h 以上で走行時にリアバンパーのレーダーセンサーにより、車両の斜め後ろのミラーで見えない死角エリアに車両や自転車がいることを警告します。また、エンジン停止から3分間、障害物が後方から近づくと、サイドミラー外側の警告灯が点灯し、さらにドアを開けようとすると、警告音を発することで、死角から近づく障害物と、開けたドアが接触することを防止する「降車時警告機能」も付いています。

ドライバーを支援するその他のシステム

・ドライブアウエイアシスト

車両前方もしくは後方 1m 以内に障害物があり、その方向に進むギアを選択した場合、アクセルを強く踏んでも時速 2km/h 以上の速度が出ず、警告音によりドライバーに誤操作の可能性があることを警告します

- *9: 停止した際に、一旦 P にシフトした後、D か R に入れる必要があります。通常走行中に停止し、P にシフトせずに再発進をする場合は、本機能は作動しません。
- *10: 時速 2km/h で走行し、警告にも関わらずドライバーがブレーキを踏まない場合は障害物に衝突します。
- *11d: 停止した際に障害物から 1m 以上離れている場合、本機能は作動しません。

・アクティブパーキングアシスト

約 35km/h 以下で走行中、超音波センサーが左右の最適な駐車スペースを検出し、並列駐車スペースへの出入りの際にドライバーをサポートします。並列駐車スペースからバックで出る際に、後ろを横切るクルマを検知してドライバーに注意を促すとともに、必要に応じてブレーキを作動させる「リアクロストラフィックアラート」も装備しています。